

女性の活躍 促進 ニュース

女性の活躍に関するさまざまなニュースをお届けします

活躍促進

「大阪市女性の活躍促進アクションプラン」を策定しました

大阪市では、現役世代の活力の底上げと経済活性化につなげるため、女性の活躍の場を広げるとともに、女性がその能力を十分に発揮し、活躍できる環境整備に取り組んでいます。女性が活躍できる都市大阪をめざし、平成26年度から3年間の取組みを進めるため、「大阪市女性の活躍促進アクションプラン」を策定しました。

平成25年7月に副市長をトップとする全庁横断的な組織である女性の活躍促進プロジェクトチームを設置し、特別顧問・特別参与、大阪市会の各会派議員も参画して案にまとめ、パブリック・コメントにより市民の皆さまからのご意見もいただき策定しました。

アクションプランに基づき、「女性が働きつづけられるまち」「活躍したい女性が希望をもてるまち」「地域で女性がいきいきと輝いているまち」をめざして、ライフステージに対応した総合的な女性の活躍促進施策を展開していきます。

☆女性が働きつづけられるまち

女性が結婚や出産を機に離職することがなく、また、一旦離職しても再チャレンジが可能であり、男女がともに子育てや介護を担いながら、多様な生き方を選択でき、働きつづけられる。

＜必要な取組み＞

- 女性の継続就業を支援する企業を増やす
- 子育てをしている家庭を支援
- 再就職や起業する女性を支援
- 男性の家事・育児・地域活動等への参画促進
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた支援

☆活躍したい女性が希望をもてるまち

若者たちに、将来を考え可能性を広げられる機会があり、働く女性に、やりがいや充実感を得ながら働くとともにキャリアアップの機会があり、地域や職場で指導的地位をめざす女性が増える。

＜必要な取組み＞

- 若者たちに職業観を持つための情報を提供
- 経営トップ層の意識改革
- 職場・地域で輝いている女性、女性の活躍を支援する企業を見る化
- 地域・企業・NPO・大学等で活躍している女性たちと将来を担う若者たちとを結ぶハブ的機能の構築

☆地域で女性がいきいきと輝いているまち

地域社会のさまざまな場面で、女性ならではの視点が反映され、いきいきと活躍できる。

＜必要な取組み＞

- 防災・減災の分野における女性の参画促進
- 社会との接点を見つける自己実現の場を提供
- 子育てが一段落した女性やこれからリタイアする女性に活躍の場を提供

アクションプランの詳細は
⇒<http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000290725.html>

【お問合せ】大阪市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課
電話：06-6208-7655 ファックス：06-6202-7073

大阪市男女共同参画講演会のご案内

参加無料

頑張りたい女性、何か始めたい女性 一緒にはじめの一步を踏み出しましょう！

講演会 夢で終わらせない～あきらめずに、続けることで見えてきたもの～
内容 スポーツの世界で夢をあきらめず、頑張り続けてきたことで目標を実現してきた講師の経験や生き方から、「継続すること」「あきらめないこと」の大切さを学びます。
講師 赤羽 有紀子（元マラソン選手）
日時 2月5日（木） 13：30～15：30 **場所** クレオ大阪中央 **定員** 申込先着700名



プレパパやプレママ、赤ちゃんやお子さんと一緒に参加、ベビーカーでの参加、大歓迎です！

講演会 パパもママも主役のハッピー子育て
内容 先進国の中で、男性の家事・育児時間が極端に少ない日本の現状にて、男性が子育てに参加し、家族みんなで子育てを楽しむことで、男性自身にも、女性にも、子どもにもメリットがあることを学びます。
講師 安藤 哲也（NPO法人ファザーリングジャパン代表理事）
日時 2月11日（水・祝） 10：00～12：00 **場所** クレオ大阪西 **定員** 申込先着300名



3.11を目前に、地域の防災について一緒に考えてみませんか？

講演会 女性が変われば地域が変わる～防災から考える男女共同参画～
内容 実際の事例を紹介しながら、地域の防災対策に女性の視点や意見を取り入れることの重要性を実感することにより、地域の防災・減災における男女共同参画の視点の重要性を学びます。
講師 米山 清美（認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事）ほか
日時 2月20日（金） 14：00～16：00 **場所** クレオ大阪南 **定員** 申込先着300名



○申込方法、内容等につきましては、事業実施団体の（一財）大阪市男女共同参画のまち創生協会（06-7656-9040）まで、お問い合わせください。

活躍促進

マルチステークホルダー会議「大阪女性の未来創造会議inナレッジキャピタル」&企業調査を実施しました

内閣府の交付金「女性の活躍加速化事業」を利用して大阪市（行政）・大阪商工会議所（経済団体）・（一財）大阪市男女共同参画のまち創生協会（支援機関）が一体となって取り組む事業をご紹介します。



マルチステークホルダー会議「大阪女性の未来創造会議inナレッジキャピタル」(平成26年10月20日)

●基調講演

森まさこさん（参議院議員、前女性活力・子育て支援担当大臣）による基調講演では、女性役員の比率やワーク・ライフ・バランスの取組みなど、女性活躍促進の経営効果はデータでも示され、今後もますます女性の活躍を推進する必要性が指摘されました。結婚・出産後も働き続けることができる職場の制度・企業風土を作るなど、多様な生き方・働き方を支援する企業の主体的な取組みが求められており、ますます輝く女性の活躍の加速化に努めていきたいとのことでした。

●【大阪女性の未来創造会議】

働いている女性、大学生、企業、支援団体などの関係者が総勢36名集まり、女性の継続就労と管理職登用について、横村久子さん（（一財）大阪市男女共同参画のまち創生協会理事長、大阪市特別顧問（女性の活躍促進））のコーディネートにより議論を行いました。

*女性の継続就労についての意見

「出産しても安心して働くことができる職場づくりを」「制度はあっても、育児と仕事の両立は難しい」「ワーキングマザーとして仕事上で実績を残していくことが大切」「女性の活躍促進に取り組む企業の見える化をすれば、ロールモデルを見つけたり、就職先を見つけやすくなる」「制度にこだわらず、人間関係や育児を優先させる企業風土をつくる」「制度の充実だけでなく、本人の仕事に対する意欲が大切」、「男性上司への研修が必要」など



*女性の管理職登用についての意見

「子育て中の女性管理職が少なく、ロールモデルがない。役職者が時短申請したが取得できなかった事例もあり、積極的に管理職になろうとは思えない」「社員の9割が女性ということもあり、管理職の概念を変え、その役職の役割を果たすことができるなら、週3、4日勤務でも管理職に登用している」「悩んでいるときに後押しすることで女性管理職の増加につなげていきたい」「女性が結婚・出産で仕事を辞める時代から、かろうじて働き続けられる現状となり、今後、男女が子育てや介護をしながら働き続けられる社会としていくため、人材育成をしっかりと行い、役職登用は平等にすることが大切」など

*企業の課題、働く女性の課題

企業としては、制度や数値目標を作った安心するのではなく、「企業としてどうあるべきか」「社員のニーズをどう把握し制度に反映させるか」「どのような企業風土を作りあげていくのか」ということなどが課題に挙げられました。働く女性としては、「長期的なキャリア形成」や「仕事に対する姿勢やモチベーション」について考えていくことなどが課題に挙げられました。

（以上、（一財）大阪市男女共同参画のまち創生協会が要約）

今後、大阪女性の未来創造会議・分科会を1月28日（水）に実施し、今回の会議と企業調査の結果をふまえ、課題と解決策を明確にしていきます。

企業調査（中間結果報告）

<調査概要>

- ・企業における女性の活躍推進への取組み状況や課題、効果的な施策を明らかにするため、平成26年9月12日～9月30日に実施。
- ・調査対象は、大阪商工会議所の会員企業4,000社で、1,202社から回答（有効回答率30.1%）。

<調査結果のポイント>

- 全体の4割強（41.3%）の企業が女性の管理職を「意図的に増やしたい」と回答。その理由として「性別を問わず登用していくことが企業成長に不可欠」とする企業が半数近く（47.3%）にのぼるなど、女性登用は業績アップや経済合理性に適うとの認識が広がっていることがうかがえる。
- 一方、出産・育児・介護との両立支援に関し企業が負担に感じることについては、「休業・短時間勤務中の代替要員の確保、円滑な業務引き継ぎの困難」（60.8%）や「担当業務の遅滞、戦力ダウン」（55.6%）の声が多い。また、両立支援の取組みが企業業績に及ぼす影響について、「デメリットのほうが大きいと感じる」企業が3割台半ば（36.6%）、「メリットのほうが大きいと感じる」企業が1割強（11.3%）となっている。
- 国や自治体に期待することとしては、「女性の活躍促進に積極的に取り組む企業への助成等」が過半数（53.0%）を占め最も多い。

※企業調査の詳細につきましては、3月末に発表いたします。